

習志野市 橋梁長寿命化修繕計画 【改定版】



令和4年3月

習志野市 都市環境部 街路整備課

目 次

1. 長寿命化修繕計画の目的
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁
3. 健全度把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期
6. 長寿命化修繕計画による効果

1. 長寿命化修繕化計画の目的

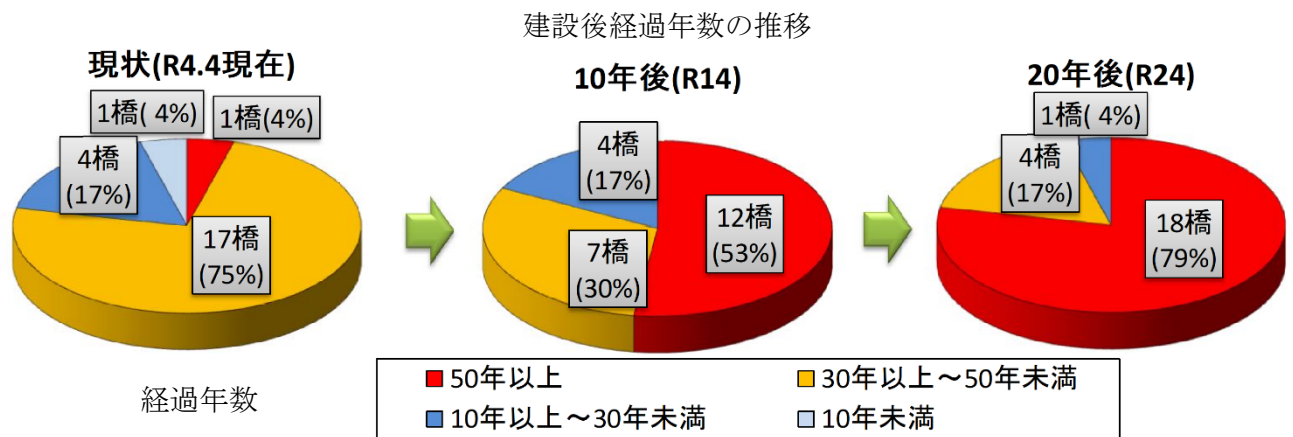
1) 背景

本市においては、昭和30年代から40年代の高度経済成長以降、ベッドタウンとしての住宅地の拡大とともに、学校などの公共施設整備が進み、同時期に橋梁を含めた道路網が整備され、その後、50年以上が経過し、橋梁の老朽化が目立ちはじめています。

また、全国的にも同時期に建設された橋梁が大規模な修繕工事や架替え工事を余儀なくされる事例が見られるようになってきました。

これは、道路・橋梁などの公共施設の新設に主眼がおかれ、維持修繕については、施設が壊れてから直す「事後保全型」の維持管理手法がとられてきたことに起因しています。

このため、本市においても、老朽化してきている橋梁が多くなり、修繕が追い付かず、多額の財政負担が必要になってくることから、修繕計画をたて、「予防保全型」の維持管理手法への移行が必要となってきました。



2) 目的

本市が管理する橋梁は、鉄道などの重要な交通網の上空に建設されており、これらの橋梁は、老朽化しているものもあり、第三者被害を出さないためにも、計画的な修繕が必要になってきています。

「橋梁長寿命化修繕計画」は、点検結果など基礎データを基に、橋梁の修繕および架替えにかかる費用に対して、工事費縮減や維持管理費の平準化を図り、従来の「事後保全型」から「予防保全型」へと維持管理手法を移行させ、道路ネットワークの安全性と信頼性を確保することを目的とします。

経過年数と橋下施設の内訳

	橋梁数	跨いでいる施設の内訳			
		鉄道	緊急輸送道路	河川	市道
50年以上	1	1	0	0	0
30～50年	17	6	0	9	3
10～30年	4	2	1	0	2
10年未満	1	1	0	0	0

※跨いでいる施設の重複あり

2. 長寿命化修善計画の対象橋梁

	市道	計
全管理橋梁数	23	23

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度把握の基本的な方針

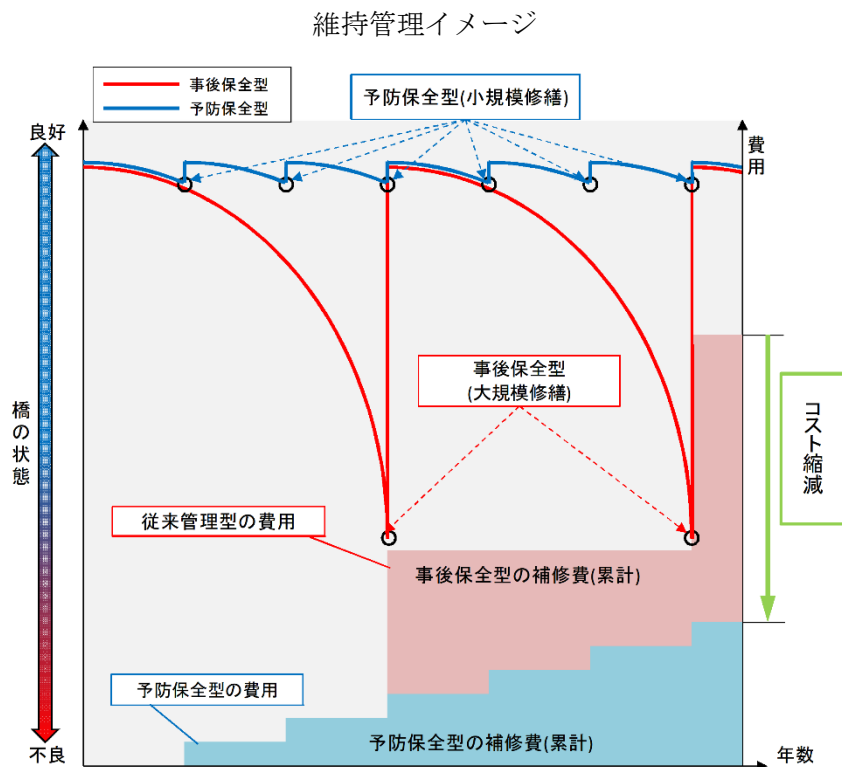
健全度は、5年に1度の定期点検で把握し、修繕計画に反映していきます。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

- ・通常の道路パトロールを実施するとともに、容易なものについては、日常の維持作業により措置を講じます。
- ・修繕時期や修繕内容の記録を行い、計画的な維持管理を実施していきます。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

- ・定期的な点検により、建設当時と同様な要求性能の維持ができるように、損傷が顕在化する前に修繕を実施する「予防保全型」の管理を行い、維持管理経費の縮減を図ります。



5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期

凡例 ○:定期点検

●:補修工事

長寿 命化 修繕 計画 番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設年次 (年)	供用 年数	最新点 検年次	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)
1	津田沼第二跨線橋	市道06-022号線	13.6	1985	37	2021	○					○	
2	谷津川2号橋	市道13-008号線	13.4	1981	41	2021	○					○	
3	谷津川3号橋	市道13-009号線	13.6	1981	41	2021	○					○	
4	東9号橋	市道13-044号線	13.7	1981	41	2021	○			●		○	
5	鷺沼中央跨線橋	市道00-011号線	214.0	1973	49	2021	○		●			○	
6	千鳥橋	市道00-103号線	16.6	1988	34	2021	○					○	
7	谷津第一跨線橋	市道00-108号線	15.4	1968	54	2021	○					○	
8	谷津第一跨線橋 (歩道)	市道00-108号線	23.5	1975	47	2021	○					○	
9	菊田川2号橋	市道00-121号線	33.4	1979	43	2021	○					○	●
10	菊田川3号橋	市道00-122号線	28.4	1979	43	2021	○					○	●
11	新京成跨線橋	市道03-036号線	28.0	2017	57				○				
12	袖ヶ浦2号立体橋	市道04-010号線	20.5	1980	42	2021	○					○	
13	袖ヶ浦2号立体橋 (歩道)	市道04-010号線	24.7	1980	42	2021	○			●		○	
14	鷺沼西跨線橋	市道06-010号線	131.5	1973	49	2021	●○	●				○	
15	津田沼第二跨線橋 (歩道)(かえでばし)	市道06-222号線	26.1	2004	18	2021	○					○	
16	あじさいばし	市道06-066号線	21.5	2003	19	2021	○			●		○	
17	鷺沼東跨線橋	市道06-120号線	131.0	1973	49	2021	○		●	●	●	●○	
18	東15号橋	市道14-064号線	28.2	1984	38	2021	○					○	
19	まろにえ橋	市道00-002号線	129.2	1991	31	2021	○					○	
20	ふれあい橋	市道00-006号線	277.2	1990	32	2020					○		
21	菊田川1号橋	市道00-006号線	36.4	1987	35	2021	○					○	
22	しらさぎ橋	市道06-196号線	23.8	1997	25	2021	○				●	○	
23	中央公園橋	市道00-010号線	75.0	2009	13	2021	○					○	

6. 長寿命化による効果

「予防保全型」の事業効果として、従来の「事後保全型」の事業費の累計は、50年間で、80.7億円（52%）の縮減が見込まれます。

